

令和8年度 メカトロニクス 技術科 説明会日程

A日程 **2月25日(水)** / B日程 **4月2日(木)**
C日程 **4月15日(水)** / D日程 **5月8日(金)**
E日程 **5月20日(水)**



説明会は、各回とも13:30分からです。お申し込みは学務課まで。詳しくはお問合せください。
*キャンパス見学随時受付中!



■受験資格

(1) 高等学校又は中等教育学校卒業者(令和8年3月卒業見込み者を含む)又はこれと同等以上の学力を有すると認められる
概ね55歳未満の者で、修了後にものづくりに関連した常用雇用を希望している者。

■入校試験

受験料: 18,000円 受験会場: 近畿職業能力開発大学校

いずれかの試験日程で受験してください

※それぞれの試験日程毎に、可否を本人宛に郵送により通知します。(電話による可否結果のお問合せには一切応じられません。)

※合格した場合はそれぞれの入校手続期間までに入校手続をしてください。

■定員 10名

■試験日程

	A日程	B日程	C日程	D日程	E日程
願書受付期間	令和8年2月25日(水)～ 令和8年3月11日(水) PM3時まで	令和8年4月1日(水)～ 令和8年4月10日(金) PM3時まで	令和8年4月15日(水)～ 令和8年4月27日(月) PM3時まで	令和8年5月8日(金)～ 令和8年5月21日(木) PM3時まで	令和8年5月27日(水)～ 令和8年6月5日(金) PM3時まで
試験日	令和8年3月19日(木)	令和8年4月19日(日)	令和8年5月9日(土)	令和8年5月27日(水)	令和8年6月13日(土)
合格発表	令和8年3月25日(水)	令和8年4月22日(水)	令和8年5月13日(水)	令和8年6月3日(水)	令和8年6月17日(水)
選考方法	適性を確認する実技課題、面接				

■修業年限

2年間(令和8年7月入校～令和10年6月修了)

■応募方法

web出願となります。詳しくはHPの「入試情報」をご覧ください。

■学費

入校料: 無料 授業料: 前期: 195,000円 後期: 195,000円(年間: 390,000円) ※授業料は変更になる場合があります。

■入校辞退

やむを得ない理由で入校辞退する場合は、入校辞退申出書を期限(令和8年6月29日(月)17時)までに提出(必着)してください。

■授業料減免制度があります

住民税非課税世帯またはそれに準じる世帯及び多子世帯の学生には授業料減免制度があります。詳しくはお問合せください。

アクセス

●公共交通機関

- JR阪和線:「下松駅」下車→南海バス「道の駅愛彩ランド」行→
→「職業能力開発大学校前」下車すぐ(所要時間約20分)
- 南海本線:「岸和田駅」下車→南海バス「道の駅愛彩ランド」行→
→「職業能力開発大学校前」下車すぐ(所要時間約30分)
- 南海泉北線:「和泉中央駅」下車→南海ウイングバス「道の駅愛彩
ランド」行→「職業能力開発大学校前」下車すぐ
(所要時間約20分)

※平日の日中については、岸和田駅からの直行便が無く、JR下松駅でバスを乗り換えて
いただく必要があります。

- 自転車、バイク又は、お車をご利用の場合は、所定の
駐輪場又は、駐車場をご利用ください。

厚生労働省所管



〒596-0817 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1

学務課 TEL:072-489-2112

受付時間: 土曜・日曜・祝日を除く9時から17時まで

厚生労働省所管工科系大学校

近畿職業能力開発大学校

NOKAIDAI

メカトロニクス技術科

令和8年
7月入校

学生募集

2026年7月入校



次世代の人材を目指して!

就職率 100%

身につく 技術力

01 メカトロニクスってなに？

機械工学(メカニクス)と、電子工学(エレクトロニクス)を結合した工学の分野です。機械、電気・電子、情報技術を取り入れた総合技術で、現代の航空機、自動車、ロボット、家電製品、自動生産設備など工業の最前線を支えます。

7月
開講

02 メカトロニクス技術科ってどんな科？

メカトロニクス技術者に求められる機械、制御、ロボット、マイコン、プログラミングに関する専門的な知識や技術を基礎から学べます。授業は学科に加え、自ら手を動かし実践し、修得(習得)するため実習の時間を多く設定しています。

メカトロニクスの魅力は様々な技術を統合し、高性能なシステムを設計、構築できることです。多様な分野での活躍が期待できます。

メカトロニクスを勉強して、貴方自身にイノベーションを起こしましょう。

03 メカトロニクス技術科、3つの魅力

選べるインターンシップと企業就労実習

会社は外から見ただけでは分からないもの。実際にインターンシップや企業就労実習に行って、自分に合う会社を見つけよう。会社も貴方が選んでください。交渉は学校がします。

少人数制の親切丁寧な指導

1クラスは10名です。専門分野の先生が一人一人が理解してできるようになるまで親切丁寧に教えます。

実習・実験で体験して学ぶ

知っていることより、できるようになることを重視します。実際に作って組み立てて、プログラミングする実習や実験の授業がたくさんあります。

取得可能な資格

ガス溶接技能講習※1、アーク溶接特別教育※2、産業用ロボット特別教育

※1 大阪労働局登録教習機関第20号、有効期間満了日2029年3月30日
※2 労働安全衛生法に則る

主な就職先

住友電工ファインポリマー(株)／(株)佐野車輛製作所／(株)をくだ屋技研／(株)野村製作所／(株)置田鉄工所／八洲電業(株)／(株)三翠社／朋友金属(株)／(株)堀内機械／ジェイ・ワイテックス(株)／甲南電機(株)
※順不同(※メカトロニクス技術科へ変更する前のデュアルシステム型生産技術科を含む)

卒業後の主な職業・業種

▶制御系エンジニア ▶機械系エンジニア ▶工場の設備管理エンジニア



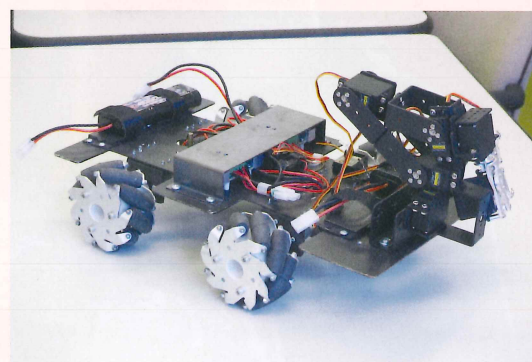
機械を学ぶ



産業用ロボットを学ぶ



制御を学ぶ

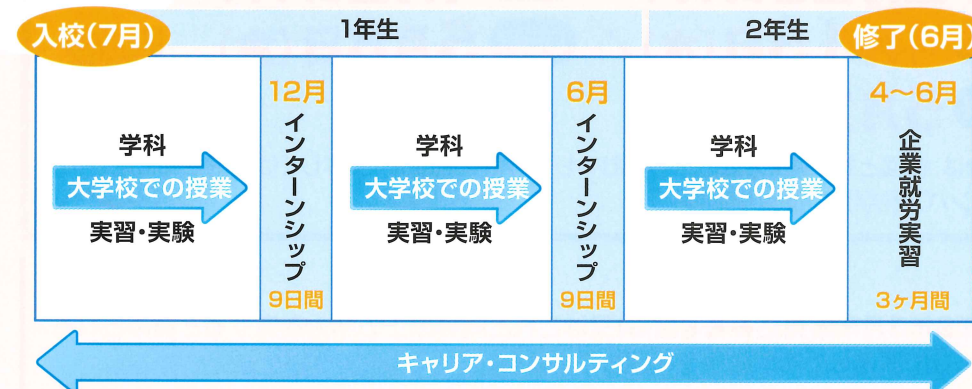


学んだ内容を生かした製作課題(例)

受験可能な資格

技能検定、電気工事士

2年間の授業の流れ



就職相談

授業では機械、制御、プログラミング等の座学→実習を繰り返し、理解を深めてから、一つの製作過程を加工、組み立て、制御実装して完成品を作り上げます。メカトロニクスの全体像が理解できる流れになっています。授業とインターンシップ、企業就労実習を組み合わせ、2年間学習します。インターンシップ後は、もう一度勉強して実力を付けましょう。インターンシップの中での知識や技術があなたの中でつながり、統合され、新たなアイデアを生み出します。自分に合ったより良い会社に就職できるようにするための学習方法です。

在校生の声

メカトロニクス技術科 山本 倖さん

1年次から実習ができる点がおススメです

入校を決めた理由は、他の大学等と違い「1年次から実習ができるところ」です。もともと実習が多い学校等を探していたところ、メカトロニクス技術科にたどり着きました。少人数制なので、わからない所をすぐに先生に聞けるのも良いと思います。ここで身に付けたことが就職にもつながると思います。



修了生の声

(株)をくだ屋技研 製造二課 自走フレーム係
廣川 大陸さん(令和5年6月修了)

実習が楽しい! 体育等もあります

メカトロニクス技術科のカリキュラムは、就職に特化しています。溶接、電子回路、シーケンスなど、実習が中心のカリキュラムなので、手を動かして楽しみながら学べると思います。他の学科との交流もあり、体育で仲良くなったメンバーと一緒に京都旅行にも行きました。



インターンシップで職場の雰囲気を確認してから就職試験に臨む

「(株)をくだ屋技研」を就職希望した理由はインターンシップでの経験です。休憩中は上司が気さくに話しかけてくれる、和気あいあいとした雰囲気が自分に合っていると思い、就職試験を受けました。

複雑な仕事には特別な達成感があります

仕事をする上で、メカトロニクス技術科での学習経験は必須です。会社で扱う図面や素材は授業で学んだものよりも複雑ですが、わからないことは先輩や上司に教わりながら対応しています。ひとつずつできる事が増えると達成感がありますね。



(左:廣川さん、右:末永さん)

上司の声

(株)をくだ屋技研 製造二課 自走フレーム係 職長 末永 弘幸さん

当社はお客様の要望に応じたオーダー製品を得意としています。ものづくりの過程では様々なコミュニケーションが発生するのですが、廣川さんには入社時点で十分な溶接技術と対人能力が備わっており、すぐに製品の製作を任せても良いレベルでした。今後もさらに伸びる人材として、成長を期待しています。